

第 25 期冬山セミナー、読図講習会実技の感想

三浦弘隆

12月16日に第25期冬山セミナーの第一回目の実技が実施されました。場所は泉南飯森山、南海孝子駅からすぐ近くの登山口から入りました。

この度の冬セミの生徒数は21人と多いので4班体制で臨みました。各班長を始め、それぞれの班にスタッフも同行し歩きました。下見も充分にしていたので、それぞれ密度の濃い実技になったのではないかと予想しています。この度の山行には読図座学講師の脇阪さんは正式には参加されませんでした。これからは若手に担って欲しい、ということで、周りのスタッフ方々の後押しもあり、ぼくらで担当することになりました。しかしながら泉南飯森山を選んだのも脇阪さん、実技マニュアルを作ったのも脇阪さん、そして下見にまでもお付き合いくださいました。その想いは雨をも退け、皆にとって有意義な1日をもたらしました。最初から最後までサポートありがとうございました。



セミナー生 三木田です。12/16(日) 読図実技お疲れ様です。感想送ります。小生、還暦一步手前、山登りの経験ほとんどなく、読図など意味不明、座学と実技で何とか「コンパス」の使い方がわかるようになってきた(すぐに忘れるかも?)。これもコーチ、スタッフ方のおかげです。山登りとは奥が深いことを少し感じた。ただ、歳には勝てず。登り坂では「ハーハー」、「ゼーゼー」、終り頃の下り坂ではひざが「ガクガク」、若いころの体力は無かった。「パワーアップ」をしないと!! 追伸、これからのセミナーが楽しみです。